

羅針盤

平成 28 年度第 10 号(通算 261 号)
平成 28 年 8 月 12 日(金) 発行
岡山県総合教育センター
Tel (0866)56-9101 Fax (0866)56-9121

2 学期からの学校行事をひとつのきっかけに！ 「居場所づくり」と「^{きずな}絆づくり」

文化祭（学習発表会）や体育祭（運動会）などの学校行事は、児童生徒が深い絆をつくる大きなチャンスです。計画・準備・本番・振り返り等、様々な場面で、児童生徒が安心して過ごせる「居場所づくり」、自己存在感や充実感を感じられる「居場所づくり」を行いましょ。そして、それらの場面での主体的、共同的な活動を通して児童生徒が「絆づくり」をできる場や機会を準備しましょ。

居場所は教師がつくる

環境整備と雰囲気づくり

- 最初の話し合いの前には、意見を出しやすい雰囲気づくりのためにアイスブレイクを行う。
- 対人関係のトラブルが起きないように事前にルール（話の聞き方等）を決める。必要に応じてソーシャルスキル教育等でルールを確立する。

児童生徒への支援

- 児童生徒の個性がよりよく生かされるよう、役割分担や活動の際に声かけや助言を行う。
- 活動にうまく入れていない児童生徒に寄り添い、活動の場につなげる。



絆は児童生徒がつくる

（教師は絆づくりのサポートを！）

関わり合う場や時間の保証


- 児童生徒主体で話し合う時間を確保する。
- 準備に与えられた時間や使用できる場所を明確に伝え、計画を立てやすくする。



児童生徒への支援

- 児童生徒の発言を、教師が受け止め、返答するだけでなく、「今の発言はどう思う？」等、他の児童生徒につなげる。
- 児童生徒自らが課題解決できそうな場面では見守り、活動が停滞しているときは、課題を見つめ直すきっかけを与えたり、新たな視点からの見方などの助言を行ったりする。

安全、安心な「居場所」のもとで強くなった児童生徒の「絆」は、以降の学校生活や授業にもよい影響を与えます。行事が終わった後も、係の仕事や清掃活動、学び合いの授業等、様々な教育活動の場で、居場所づくりと絆づくりを進めていきましょう。「学び合いの授業づくりにおける居場所づくりと絆づくり」については、『平成 28 年度 ともに創ろうおかやまの未来ー見て分かる教師ガイドー』 p.32, 33 が参考になります。

平成28年度 ともに創ろうおかやまの未来  検索

参考資料 国立教育政策研究所 生徒指導リーフ2 『絆づくり』と『居場所』づくり

国立教育政策研究所 「子どもの社会性が育つ『異年齢の交流活動』」

岡山県総合教育センター（平成 28 年 3 月）「ともに創ろうおかやまの未来 ー見て分かる教師ガイドー」

（担当・生徒指導部）

次回の発行は、8月26日（金）の予定です。

【バックナンバー】 <http://www.edu-ctr.pref.okayama.jp/sougou/koho/>